

日の出町小学校で 出前授業

日の出町の馬場 貴之さんは6月27日、同町立大久野小学校3年生を対象に地域学習の授業を行いました。日の出支店の職員2人と共に児童38人へ向けて動画やスライドを用いて日の出町の農業について説明しました。また農薬のボトルなどに実際に触れてもらい、適切な使用で食の安全が保たれていることなどを伝えました。

児童たちは熱心に話を聞きメモをとり、土の違いや水の量、品種についてなどを質問しました。この日は授業参観で見学していた父母からも質問があり、同町の農業について理解を深めました。

日の出支店 榎戸 大河



授業をする馬場さん(中央)

七夕に園児の願いを飾る

東秋留支店は7月7日に向けて七夕の飾りつけを行いました。遠藤弘之支店長宅に自生している笹を伐採し、支店内とA・T・Mスペースの2カ所に設置しました。職員が作成した飾りのほかに、支店近くの2つの保育園に協力をお願いし、園児に書いてもらった願い事の短冊40枚を飾り、華やかな七夕飾りとなりました。

A・T・Mコーナーでは、ご来店されたお客様が短冊に願い事を書いて吊るせるスペースを設けました。蒸し暑い日が続く中、笹の葉が風に吹かれて揺れる姿は爽やかで涼しげな装いとなりました。

東秋留支店 市倉 裕子



園児の願いを飾った七夕飾り

まごころ感謝祭 初開催

多西支店は7月19日、支店駐車場で「まごころ感謝祭」を開きました。

日頃の感謝の気持ちを地域住民に伝えるために企画され、地域の農家さんと人気キッチンカー「クレープNICO」との共同企画が実現しました。トウモロコシをはじめとする新鮮野菜、クレープとかき氷が販売され、夏の暑さを吹き飛ばす甘く冷たい味わいに、笑顔がこぼれました。チラシを持参した来場者にはポップコーンが無料で配布され、参加券で挑戦できる「大抽選会」も大盛況となりました。

多西支店 一瀬 星和



子どもたちでにぎわう会場

スイカ収穫！

増戸支店は7月29日、支店裏の一面で5月から育てていた大玉スイカを収穫しました。栽培では地域の農家さんから実を傷つけないための藁などの資材提供を受け、わずか3カ月足らずで丸々と立派に実りました。

収穫後はその場で切り分け、職員全員で試し、果肉は鮮やかな紅色でみずみずしく自然な甘さに笑顔が広がりました。

島崎 智子支店長は「土に触れることで作物を育てることの大変さと楽しさを実感できました。今後さまざまな作物を育て農業理解を深めていきたいです」と話しました。

増戸支店 高水 歩



スイカを抱える島崎支店長



01 NEWS

秋川溪谷恵みフェスタ 開催

7月1日から4日の4日間、新宿のJA東京アグリパークで、「秋川溪谷恵みフェスタ」を開催しました。JA管内の観光協会や地元企業と共に管内農産物や市町村特産品を販売しPRしました。

JAでは特産のトウモロコシを販売し好評でした。また、東京和牛株式会社による東京和牛のパストラミサンド販売や、キッチンカー「クレープNICO」による地元産のブルーベリージャムやユズジャム、はちみつを使用したクレープを販売し、管内の農業をPRしました。



アグリパーク店内
東京和牛のPR

8



03 NEWS

女性部東秋留支部盆踊り

女性部東秋留支部は7月17日、同支店の駐車場で盆踊り大会を開きました。女性部員36人、職員16人と地域住民合わせて約200人が参加しました。

今年は近隣住民へのチラシ配りや地域の施設にポスターを展示してもらうなど、宣伝に力を入れました。

当日は職員がお子様向け当てくじなどさまざまな模擬店を出店し、例年以上の来場者を迎え賑わいました。

女性部員は盆踊りを心待ちにして練習に励み、全18曲を踊り切り、地域との交流を深め盆踊り大会は大盛況で終わりました。



盆踊りを楽しむ来場者

3



05 NEWS

青壮年部出前授業

青壮年部は、7月15日、16日、9月16日の3回に分けて地域の子どもたちに農業の大切さや地産地消の意義を伝える「出前授業」を、あきる野市内の小学校5校を対象に実施しました。青壮年部は食育活動に力を入れており、部員の発案により同市の学校給食担当職員に出前授業を提案し、実施が決まりました。

初回は7月15日に、同市立多西小学校で開催され、3年生の児童52人が参加しました。講師は部員の武田竜哉さんが務め、地域の農業や、特産品であるトウモロコシについて説明しました。



授業をする武田さん

4



02 NEWS

M-1グランプリ

7月11日、JAの直売所運営委員会日の出地区出荷部会のスイートコーン生産者は、日の出町ふれあい農産物直売所で2025年「MOROKOSHI-1(M-1)グランプリ」を開きました。

グランプリは今年で4回目、9人の生産者が参加し、審査は西多摩農業改良普及センターの岡村亮主事が務め、各数値を測定しました。

「早出し部門」は6月2日に初

出荷した森田明さん、「重量部門」

は3本合計1505gで島崎学

さん、「糖度部門」はBrix濃

度糖度19.9%で同じく島崎

さんが受賞しました。



M-1グランプリ参加者

04 NEWS

あぐりスクール開校

7月12日、第5回あぐりスクールを開校し、トウモロコシの収穫を行いました。5組17人の親子が参加し、JA職員の指導のもと、自らの手で一本一本トウモロコシを収穫しました。5月に種まきし、背丈を超える高さに育った茎に驚きながらも、真剣な表情で作業に取り組みました。

初めてトウモロコシを収穫したという参加者は「意外と簡単に子どもでも収穫できて驚きました。たくさん収穫でき、食べられるか心配です」と笑顔を見せました。



トウモロコシを収穫する参加者

4



06 NEWS

檜原村 じゃがいも品評会

檜原村は7月31日、「第14回じゃがいも品評会」を開きました。この品評会は、特産物であるジャガイモの品質と出荷量をさらにレベルアップさせることを目的に開催しています。村内の生産者18人がジャガイモ16品種、計40点を出品しました。

檜原村村長賞には、中村賢次さんの出品した「メークイン」が輝きました。また、秋川農業協同組合長賞には、宇田俊史さんの「とうや」が選ばれました。



審査会場

12





07 NEWS

あきる野夏まつりでJAをPR

3 すべての人に健康と福祉を

青壮年部、女性部、本店職員は8月2日、「第20回あきる野夏まつり」に参加しました。地元産農産物やJAをPRすることが目的です。

青壮年部は本店前で新鮮な農産物と焼きトウモロコシを販売し400本が完売しました。本店職員もポップコーンの販売を行いJAをPRしました。

女性部は駅前大通りで流し踊りに参加し、61人がそろいの浴衣で「あきる野音頭」「東京音頭」など全12曲を息の合った踊りで披露しました。



流し踊りに参加した女性部

08 NEWS

夏キャンペーン定期で野菜プレゼント

12 つくる責任 つかう責任

8月6日、夏のキャンペーンとして実施した「定期貯金キャンペーン」で、特典として用意された地元産の新鮮野菜セットを当選者に配布しました。

今回のキャンペーンでは、地域の農産物の魅力を広く発信する目的で、地元産のトウモロコシ、ナス、枝豆、シイタケ、ピーマンを詰め合わせた「野菜セット」が特典として用意され、定期貯金に応募した人の中から抽選で100名にプレゼントしました。応募は予想を大きく上回る反響があり、定期貯金の募集枠は期間中に完売しました。



野菜を受取る当選者

09 NEWS

農業講習会で適正使用を学ぶ

12 つくる責任 つかう責任

日の出地区出荷部会は8月13日、出荷農家を対象とした農業講習会を開き、13人が参加しました。

講師にJA全農東京都本部生産資材課の秋山氏と小澤氏を迎え、秋作・冬作に向けた農薬の正しい使用方法や基準について学びました。

講習では、JA全農が作成した「作物別病害虫防除暦体系表」を用いて、作物ごとの病害虫に対応する農薬や、防除方法が説明されました。青木崇出荷部会長は、「農薬を適正に使用し、農産物の品質を高め安心・安全な商品をお客様に届けていきたい」と話し、講習の意義を強調しました。



講習を受ける参加者

10 NEWS

檜原村 払沢の滝 ふるさと夏まつり

12 つくる責任 つかう責任

檜原村は8月16日、「第37回払沢の滝ふるさと夏まつり」を開きました。会場の同村小学校の校庭では、特産のジャガイモ「おいねのつるいも」や加工品の「じゃがいもアイス」、産業を紹介するテントが立ち並び、舞台では歌謡ショーや檜原太鼓が披露されました。

檜原支店の職員は、檜原地区のじゃがいも栽培組合から出荷されたジャガイモや五日市経済センターあいなどで取り扱う地元の商品などを販売し、地域住民をはじめとする来場客にJAをPRしました。



JAブースでジャガイモをPRするひのじゃがくん

11 NEWS

健康づくり大会

3 すべての人に健康と福祉を

女性部は8月20日、「第32回健康づくり大会」を本店で開きました。そろいの浴衣を着た全7支部の女性部員約200人が行進曲に合わせて入場し、やぐらのまわりに4重に輪を作りしました。「あきる野音頭」、「日の出音頭」、「新五日市音頭」など各地域の曲を含む25曲を踊りました。会場には女性部員のほか来賓やJA役職員、地域住民などのべ400人が訪れ盆踊りを楽しみました。

青壮年部員は新鮮な地元産野菜や子ども向けのおもちゃなどを販売し、JA職員はポップコーン、かき氷、ヨーヨーなどの模擬店を出しました。地域商店のキッチンカー6台も並び、開始時刻前から親子連れが多く訪れ大盛況となりました。



大勢の来場者でにぎわう会場